



「おおつエコライフチャレンジ」について

おおつ環境フォーラム
エコライフチャレンジ事務局

1. はじめに

地球温暖化問題は、今、まさに私たち人類が直面する最大の課題となっており、その影響は異常気象をはじめ、身近で顕在化しています。深刻化する気候変動を回避するため、世界各国では脱炭素社会に向けた取り組みが加速しています。

気候変動を抑えるための国際的な取組として、2015年12月に開催されたCOP21（第21回国連気候変動枠組条約締約国会議）で合意されたパリ協定では、工業化前と比べ、世界の平均気温の上昇を2℃を十分下回る水準に抑制し、できれば1.5℃までに抑える努力をするという目標が掲げられました。その後、2021年のCOP26（グラスゴー会議）では、工業化前と比べた全球平均の年平均気温の上昇を1.5℃以内に抑えるとの目標に世界各国が合意し、これまで努力目標であった「産業革命前からの気温上昇を1.5℃までに抑える」ことが、今日、事実上の世界の共通目標となっています。

わが国では、2020年に、2050年までに二酸化炭素（CO₂）排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル宣言がなされ、2030年度の温室効果ガス排出を2013年度から46%削減を目標に掲げています。

大津市でも、持続可能な未来のために、大津市環境基本計画（第3次）において、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減の目標を掲げ、様々な取り組みが進められています。

その取り組みの一つとして、上記計画の実行計画に位置づけられる「アジェンダ21おおつ」のリーディング事業として、省エネルギーの推進や環境意識の向上、エコなライフスタイルの定着を図り、脱炭素社会の実現を目的に、大津市と連携し、「おおつエコライフチャレンジ」事業の取り組みを進めています。

2. 「おおつエコライフチャレンジ」とは

「おおつエコライフチャレンジ」は、身近な環境や地球環境が抱える様々な課題に対して自ら関心を持ち、行動するきっかけとして、家庭で環境にやさしい生活を送り、その効果を実感してもらう取り組みとして実施しています。この「おおつエコライフチャレンジ」を通じて、大津市が目指す持続可能な社会の実現に向けて多くの「環境人」の輪が広がっていくことを期待しています。

「おおつエコライフチャレンジ」は、PCやタブレット、スマートフォン等から環境にやさしい取り組みにチャレンジしてもらうサイトです。チャレンジ項目ごとに、取り組めたかどうかを「○」「△」「×」で回答することにより、1年間で削減できるCO₂排出量や節約できる電気代などを知ることができます。

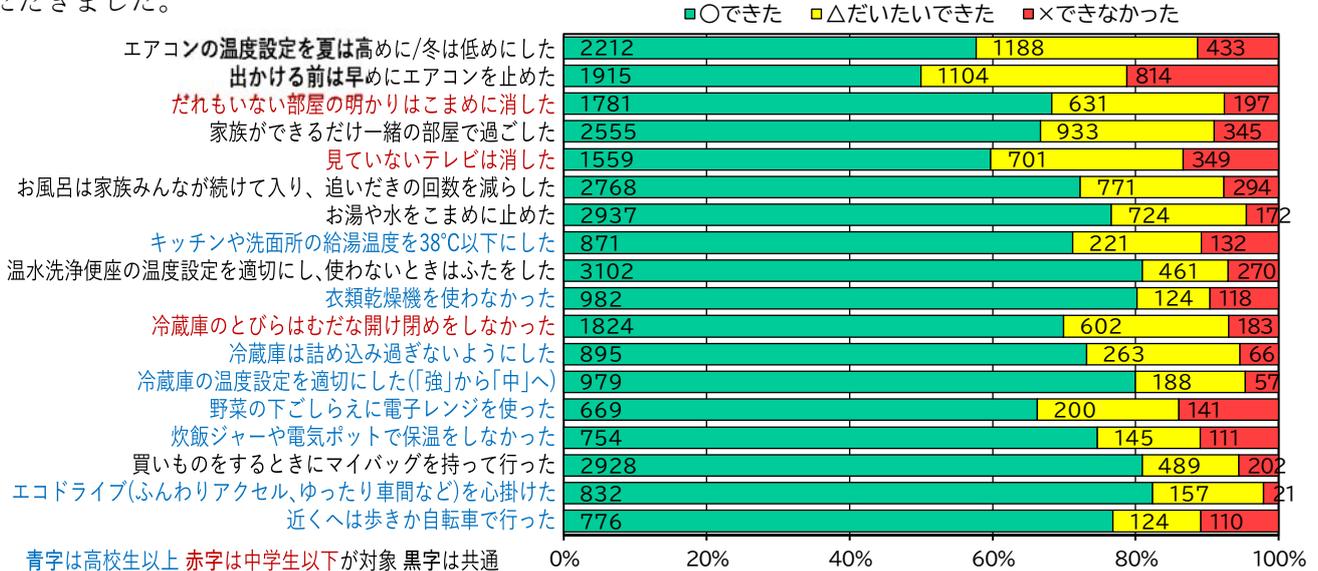
チャレンジ項目は、生活の様々な場面を想定した内容で、高校生以上は15項目、中学生以下は10項目です。ご家庭や身の回りで、また、家族一緒に取り組むことができるものになっています。



2023年4月から本格運用を始め、みなさまのチャレンジにより、2026年1月末時点で、登録者は2,498人、のべ参加者数は、3,833人となっています。参加者のうち小学生は2,609人で68%を占めています。

その結果、電気5,977.1 kWh、都市ガス523.0 m³、ガソリン470.9 L、水39.8 m³、金額にして406,373 円が節約でき、CO₂排出は4,302.5 kg（ブナの木約391本分の年間CO₂吸収量に相当）が削減できたという結果になっています。チャレンジ項目とこれまでの項目別の取組結果を下図に示します。

なお、電力消費量が増加する夏や冬に合わせて、夏の「おおつエコライフチャレンジ サマー」、冬の「おおつエコライフチャレンジ ウィンター」を実施しています。夏の「おおつエコライフチャレンジ サマー」では、環境教育の一環として、大津市内の小学生を対象に、「小学生版 おおつエコライフチャレンジ サマー」を実施しており、これまで22校、登録者2,089人、のべ人数2,482人のみなさんに参加していただきました。



「おおつエコライフチャレンジ」のチャレンジ項目とこれまでの項目別の取組結果

3. 「おおつエコライフチャレンジ」事業の特徴

- ◆デジタル化でいつでもチャレンジできる
PCやタブレット、スマートフォン等から環境にやさしい取り組みにいつでもチャレンジできるWebサイトです。
- ◆取り組みを続けた場合の数値がわかる
チャレンジした取組結果を一年間続けた場合のCO₂排出削減量や節約できたエネルギー、またご家庭の節約金額がすぐに表示され、チャレンジしたエコライフの成果を数値として見える化しています。
- ◆個人情報不要
チャレンジの利用登録に個人を特定する情報は必要ありません。まずは一度チャレンジしてください。
- ◆「ポケットおおつ」と連携
2025年度冬の「おおつエコライフチャレンジ ウィンター」から、期間中に取組項目にチャレンジすると、大津市のデジタルサービスの「ポケットおおつ」アプリで使えるポイントがもらえるコラボ企画も始めました。



おおつエコチャレ で検索
または、右の二次元コードから



4. エコなライフスタイルで私たちの未来を守ろう

環境保全のため、家計の節約のため等、きっかけは人それぞれかもしれませんが、エコなライフスタイルについて考え、私たちの未来の地球を守る取り組み「おおつエコライフチャレンジ」に、多くのみなさんの参加をお願いします。今後も、CO₂排出削減に繋がる事業として「おおつエコライフチャレンジ」を進めていきます。

家庭の省エネ簡易診断について

おおつ環境フォーラム エネルギープロジェクト

各家庭に対し省エネを直接働きかける事業として、エコライフチャレンジ以外にも「家庭の省エネ簡易診断」を実施しています。市民が集まるイベントにて、図1の採点表を用い対面で診断するものです※1。

診断は「冷房」「暖房」「給湯」「照明家電」「台所」「断熱※2」「自動車」「再エネ」について機器の種類(ガス/電気、LED/蛍光灯等)や設置年、使用方法(設定温度、エコドライブ等)をもとに省エネ性能を判定する簡易なものです。2013年のCO₂排出平均レベルを0点とし、1%削減相当で1点を配点します。電力の排出係数低下分を差し引けば2030年時点で「冷房」～「断熱」の合計が30点以上であれば家庭部門としての分担分は達成できたとみなせるとの視点で診断しています。



図1 診断に用いた採点表

図2は2023～2025年の「おおつエコフェスタ(幼児・小学生のいる家族が主対象)」「リサイクルフェア(新しい大規模マンションの多い地域で開催)」「おおつ健康フェスティバル(会場は中心市街地で来場は比較的高齢者が多い)」の結果です。どの会場でも年を追うごとに省エネは進められているようで、機器交換サイクルの短い照明家電、台所は好成績です。一方で住宅そのものに手を加える必要のある断熱は町や住人の成熟度の高い会場での改善が遅れています。再エネ(太陽光発電導入等)も同様の傾向となっています。

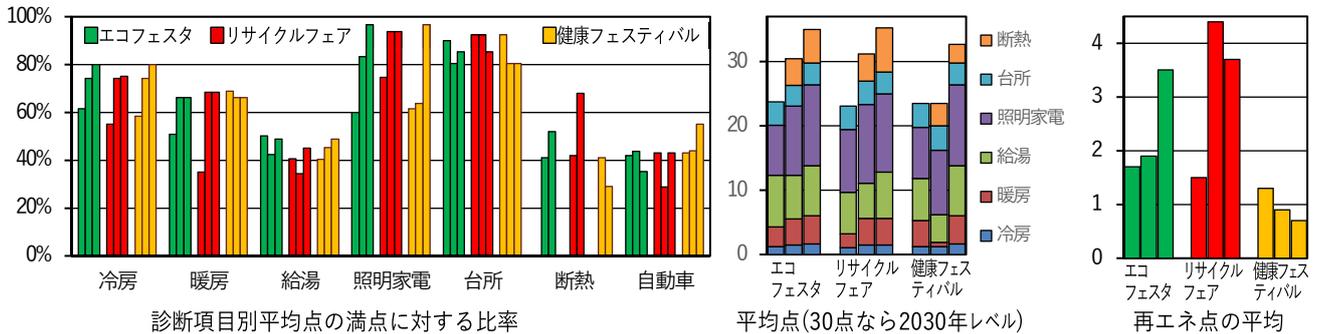


図2 イベントごとの診断結果 3本組の縦棒は左から2023年、2024年、2025年の値(2023年は断熱の項目を実施していない)

※1 イベント会場において対面で実施するほか、出前講座等において一斉に回答してもらう形でも実施しています。

※2 省エネと快適で健康な住環境につながる項目として2024年から追加。住宅の省エネ性能を居室の窓構造だけで判断しています。

□ イベント案内 4月～6月

参加ご希望の方は、開催日の10日前までに下記までお申し込みください。

参加費不要

対象 おおつ市民環境塾；一般市民 自然家族事業；4歳～小学生の児童とその保護者

問い合わせ先 ☎ 077-526-7545 ✉ info@otsu.ondanka.net

申込フォームはこちら ▶▶▶



5月23日

4月25日(土) 10:00～12:00 瀬田公園体育館前集合(一里山6丁目9-1)

おおつ市民環境塾 講座1 体験学習「春の野草と樹木を楽しむ自然観察会」 予備日4月29日
講師の案内で公園内の遊歩道を巡り、森や芝原・池畔の野草や樹木を観察します



6月6日

5月23日(土) 10:00～12:00 春日山公園(真野谷口町)

自然家族事業 里山の日①「オタマジャクシとあそぼう」 予備日5月24日
春日山ビオトープでどろんこあそびや生きものつかみをします

5月30日(土) 9:30～12:00 大津市中消防署(皇子が丘3丁目2-1)

おおつ市民環境塾 講座2 体験学習「新しい中消防署施設見学・研修」
いつ起こるか分からない災害に備えて「放水体験」「煙体験」や洪水時の「水圧体験」をします

6月6日(土) 9:15～12:00 坂本コミュニティセンター集合(京阪坂本比叡山口駅前)

自然家族事業 川の日①「すごいぞ！大宮川の生きものたち」 予備日6月13日
川の中の生きものをしらべると、川の水のきれいさがわかります



6月18日

6月18日(木) 10:00～12:30 北部クリーンセンター(伊香立北在地町272)

おおつ市民環境塾 講座3 見学会「北部クリーンセンター施設見学」
日常生活からの廃棄物が「資源」に活用されている現場；焼却施設とリサイクル施設を見学

□ 開催した一般参加イベントの報告

11月1日 於春日山公園
おおつ市民環境塾 講座7
里山は自然と文化の野外博物館



参加14人

持続的に生態系を管理する技術と知恵により支えられてきた里山の現地で、びわこ成蹊スポーツ大学准教授の中川宏治氏から地域の自然と文化についての解説を聴く

11月14日 於蹴上発電所他
おおつ市民環境塾 講座8
今なお発電続ける蹴上発電所見学会



参加11人

設備を更新しながら今なお電気を送り続けている日本初の電気事業用水力発電所と関連展示のある近くの琵琶湖疎水記念館を見学

11月29日 於市民活動センター
おおつ市民環境塾 講座9
琵琶湖の在来魚の産卵環境を考える



参加15人

国立環境研究所琵琶湖分室分室長の馬淵浩司氏による琵琶湖の在来魚の漁獲回復に向けた魚種ごとの産卵分布調査についての講演

12月7日 於平野コミュニティセンター
おおつ市民環境塾 講座10
地球にやさしい簡単料理



参加6人

地球温暖化の現状・対策、食品ロス問題などエコ料理教室実施の背景や食材徹底利用等の講義、また大豆ミート入り豆腐ハンバーグ等5品の調理実習、試食、後片づけ

自然家族事業里山の日②は熊出没により中止しました 上記各イベントの詳細は <https://otsu.ondanka.net/> または <https://eco-otsu.net/> をご覧ください

英国だより No.17

奥野みどり

<https://www.instagram.com/midori.window.of.opportunity/>

2026年が始まったと思ったらあっという間にこんな日が経ってしまいました。毎日を通しているだけでもあっという間なのに、年末年始もバタバタしているいろいろなことがあったからか、さらに時間の流れが早い気がしています。

さて、以前もお話ししましたが、イギリスは2024年9月末、国内すべての石炭火力発電所を閉鎖しました。実は、国内最後に残った「ラトクリフ・オン・ソア発電所」は、私の家から車でわずか15分ほどの場所。長年、地域の風景の一部だったあの巨大な冷却塔から煙が消えた瞬間は、ひとつの時代の終わりを肌で感じる出来事でした。

[産業革命の火を消すということ]

イギリスにとって、石炭はただの燃料ではありません。142年前の産業革命以来、この国の発展を支えてきた「屋台骨」です。今も残る古い炭鉱町には、かつての栄華を誇る人々の記憶が息づいています。石炭を完全に卒業することは、イギリス人にとって非常に感慨深く、勇気のいる決断だったはずで。

「石炭をやめて、電気代は大丈夫なの？」日本のみなさんが一番気になるのは、その後の影響ではないでしょうか。結論から言うと、意外にも「石炭停止による混乱は、ほぼなし」でした。

「えっ、あんなに大きな施設を止めたのに？」と思われるかもしれません。実は、イギリス政府は10年以上かけて計画的に石炭への依存度を減らしてきました。閉鎖直前には、電力構成に占める石炭の割合はわずか1%。つまり、バトタッチの準備は完璧に整っていたのです。

ただ、みなさんと同じく、私たちも電気代には悲鳴を上げ

ています。イギリスの電気料金の主役は、今や石炭ではなく天然ガス。国際的なガス価格の変動が、そのまま私たちの財布を直撃します。現在の平均的な電気・ガス代は年間 約1,800ポンド(約36万円)。コロナ禍前と比べると4~5割も高くなってしまいました。イギリスもエネルギー価格の世界的な高騰からは逃れられません。

[風の国・イギリスの挑戦]

そんな中でイギリスが突き進んでいるのが風力発電へのシフトです。海上に並ぶ巨大な風車群は、今やイギリスの新しい象徴。しかし、再エネ先進国にも悩みはあります。「風力ならタダでしょ？」とはいかず、膨大なメンテナンス費用や、風が吹かない時のバックアップ問題など、課題は山積み。国民の間には「本当にこれで安くなるの？」という不安も消えていません。

142年続いた「黒いエネルギー(石炭)」の時代を終え、未知なる「緑のエネルギー」へと舵を切ったイギリス。2026年、私たちの生活と環境がどう共鳴していくのか、これからも見守っていきたいと思います。



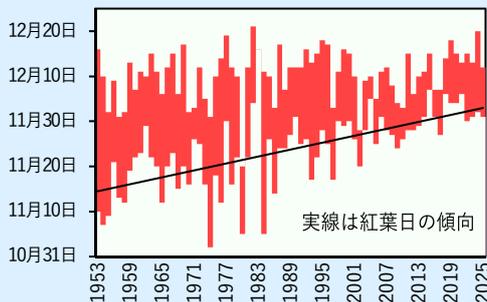
北海沿岸SuttononSea沖の洋上風力発電所

データで見る 温暖化⑭

カエデの 紅葉日・落葉日

彦根 1953~2025

気象庁HPをもとに作成



発行

大津市地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム)
520-0047大津市浜大津4-1-1明日都浜大津4F
Tel : 077-526-7545

E-mail : info@otsu.ondanka.net

HP : <https://otsu.ondanka.net/>

編集責任 : 西山 克己

